

総務経済常任委員会調査報告

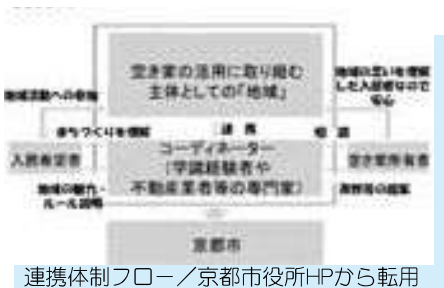
京都府京都市、滋賀県東近江市を視察調査

地域連携型空き家流通促進事業、資源循環型地域づくりについて

京都府京都市の概要
 面積：八二七、九〇平方キロメートル
 人口：約一四六万九千人
 世帯数：約六九八千世帯
 京都府最大の都市で京都府の人口の五六、二%を占める京都府の府庁所在地である。

「地域連携型空き家促進事業」
 京都市では、地域の自治組織等が、学識経験者、不動産、民間建築業者と

伯耆町議会総務経済常任委員会（福田委員長以下七委員）は、平成二六年一〇月二九日から同年一〇月三一日まで、京都府京都市および滋賀県東近江市において行政調査を行った。



連携体制フロー／京都市役所HPから転用

調査のまとめ
 自治体規模は異なるものの、この課題に積極的に関わり、積極的に取り組む意思のある自治体との連携を図り、地域づくりの資源として流通促進を図るこの取り組みは、わが町でも参考となるものである。

連携しながら、市場に出していない空き家の掘り起こしと所有者への活用提案などを働きかけるなど、市が支援をしている。

滋賀県 東近江市の概要

面積：三八八、六平方キロメートル
 人口：約一五千人
 世帯数：約四千世帯
 市の中央を愛知川が東西に貫流し、琵琶湖に注ぐ県下一の穀倉地域である。

また、名神八日市インターチェンジの開設を機に企業立地も進み、IT関連工場を始め、電気、住宅などの多様な企業進出があり、内陸工業都市としての性格も有するようになった。

「菜の花エコプロジェクト」

昭和五十二年、琵琶湖の水質が悪化するなかで大規模な赤潮が発生した。その改善を考えていく過程で、消費者が中心とな



菜の花エコプロジェクト

り、環境改善運動が始まった。それをきっかけに、住民と自治会、行政が協働したりサイクルシステムが構築されていた。

調査のまとめ

この取り組みは、住民の小さな取り組みが行政を動かし、町ぐるみの活動へと発展した。本町も住民発の様々な取り組みがあり、東近江市で学んだこの取り組みを参考に伯耆町版エコプロジェクトを考えていく必要がある。